

保護者の皆様

仙台市立東仙台中学校  
校長 齋藤 宏之

令和2年度 教育活動に関するアンケートの集計結果について(お知らせ)

早春の候、保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本年度の教育活動に関する保護者の皆様からのアンケート及び生徒・教員自己評価につきまして、下記のとおり集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。三者アンケートの結果を分析・検討し、今後の指導における改善の方策(方針)を掲載いたしました。

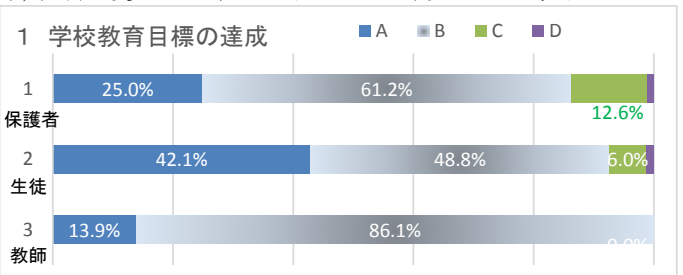
本年度は新生活様式のために様々な制限の中での学校生活となっていることを鑑みたく、それぞれの立場から率直なご意見をご回答いただいたことに感謝申し上げます。

学校教育目標・目指す生徒像について

【学校教育目標】

1 生徒は、心身共に健康で、豊かな人間性と確かな学力を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる生徒になるよう努力している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	25.0%	61.2%	12.6%	1.1%
2 生徒	42.1%	48.8%	6.0%	1.2%
3 教員	13.9%	86.1%	0.0%	0.0%

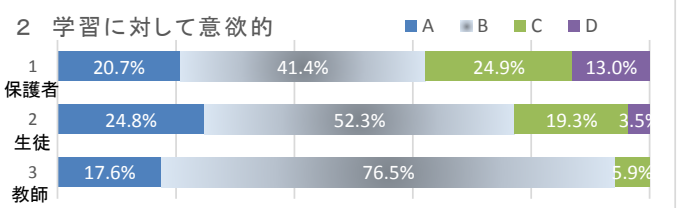


三者いずれにおいても「A(よい)」・「B(おおむねよい)」の評価が8割以上です。今後も、自ら心身の健康に努め、人間性をより豊かにしようとする生徒を育成していきます。

【目指す生徒像(自主)】

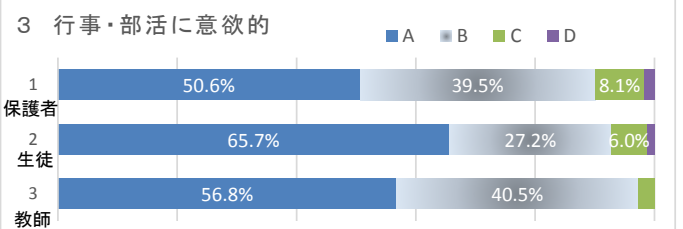
2 学習に対して意欲的である。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	20.7%	41.4%	24.9%	13.0%
2 生徒	24.8%	52.3%	19.3%	3.5%
3 教員	17.6%	76.5%	5.9%	0.0%



3 学校行事や部活動に対して意欲的である。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	50.6%	39.5%	8.1%	1.8%
2 生徒	65.7%	27.2%	6.0%	1.2%
3 教員	56.8%	40.5%	2.7%	0.0%



何よりも生徒自身が、学校行事や部活動に対して意欲的であると回答しており、本年度は特別な制限の中でも行事や部活動を通して達成感や充実感を得ていると言え、嬉しく思います。今後も、大規模校であることを利点と捉え、生徒が「自己有用感」を得られることができるよう東仙中の良さを生かした教育活動を実践していきたいと考えています。<→設問10をご確認ください>

○学習意欲の向上・家庭学習について<→設問12「家庭での学習時間」と関連>

学習への意欲に対して、全体の77%の生徒がA・B評価となっています。学校では感染防止対策を行いながら、「分かる喜びやできた喜び等の達成感を味わうことができる授業」や「自分の考えや思いを表現することで充実感を味わうことができる授業」、「議論することで深い学びにつながる授業」を工夫しながら授業を実践してきました。

生徒の学習意欲向上のための工夫として、家庭と学校の更なる連携の必要性を感じています。お子様自身のやる気を高めるために、学校でも家庭でも「認める」「褒める」場面をもっと多くしたいと考えています。具体的には、良い取組(家庭学習を含む)の様子を情報として発信していき、生徒自身が「学習の必要性」や「取組方」などの情報を共通で認識する場面を設定したいと考えています。そして、家庭でも共通の話題として取り上げ、お子様の取組の様子についてその都度「認める」「褒める」機会を増やしてほしいと思います。また、学校での毎授業時間中の工夫として、生徒に本時の授業の目的をしっかりと理解させた授業展開と宿題の工夫を行います。定期考査では次年度も考査前学習会を実施し、家庭学習計画や振り返りを生かしながら学習方法の改善策等についてより具体的にアドバイスしていきます。ご家庭でお子様との話題として取り上げてください。

今後も、深い学びのための授業改善に努め、主体的に学習に取り組む生徒を育成していきます。

【目指す生徒像(友愛)】

4 友達関係が円満である。

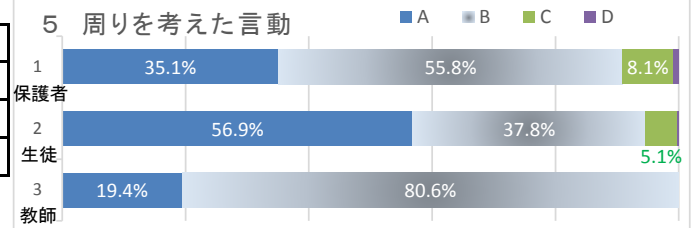
	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	48.2%	44.9%	5.8%	1.1%
2 生徒	67.1%	28.7%	4.0%	0.3%
3 教員	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%

5 周りの人のことを考えた言動や行動をしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	35.1%	55.8%	8.1%	1.0%
2 生徒	56.9%	37.8%	5.1%	0.3%
3 教員	19.4%	80.6%	0.0%	0.0%

6 他人にいじわるをしたり, 傷つけたりしていない。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	61.2%	35.5%	3.0%	0.3%
2 生徒	79.0%	18.5%	1.9%	0.9%
3 教員	11.4%	80.0%	8.6%	0.0%



おおむね友好的な人間関係の中で生活できていると回答しています。設問4(友達関係), 設問5(周りのことを考えた言動・行動), 設問6(いじわるしない)の内容において, 生徒は常に意識した生活を過ごしていることが分かります。設問6の回答のうちC・Dの生徒については, 高い意識を持っている結果の自己評価(自戒)であると思います。

○いじめへの対応について<→設問14「より良い学校づくり」29・30「いじめの未然防止・組織的対応」と関連>

いじめについては, 「どこの学校でも・誰でも・いつでも起きうる」という認識に立ち, 生徒たちの小さな変化も見逃さないように努めています。また, 定期的なアンケート調査や教育相談・個別面談等を活用してきました。今後とも家庭・学校が連携して情報を共有しながら, いじめの早期発見・早期対応に努めていきます。何か気掛かりなことがある際はいつでも相談してほしいと思います。

本校の自慢の一つが生徒会を中心とした活動にあります。本年度も, いじめの無い学校づくりのために全校からいじめ防止の標語を募集しました。また, スーパーアルカスを中心としたボランティア活動で奉仕の精神や思いやりの精神も身に付けています。

しかし, 近年はSNS等の情報発信をきっかけとした生徒間トラブルが急増しております。トラブルの未然防止のためには, 学校と家庭がそれぞれの責任を果たしながら連携することが必須です。学校においてもトラブルの解消と情報モラルについての指導をおこなっておりますが, 携帯電話(スマホ)等の生徒の使用は各ご家庭でのルールの下での使用を徹底していただく必要があります。改めてご家庭内での話題としていただき, ルールの確認や見直し等をおこなっていただきたいと思っております。

令和2年度東仙台中学校いじめゼロ標語 金賞作品「いじめとは やめるじゃなくて 始めない」

【目指す生徒像(健康)】

7 基本的な生活習慣が身に付いており, 健康で元気である。

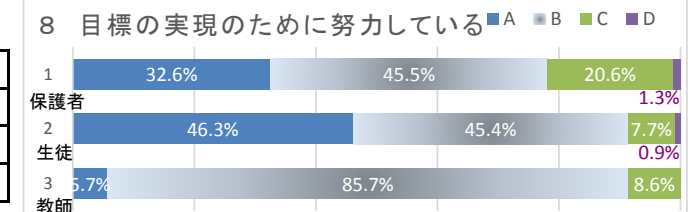
	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	32.2%	44.2%	20.4%	3.2%
2 生徒	44.8%	41.0%	12.0%	2.3%
3 教員	5.9%	85.3%	5.9%	2.9%

8 目標の実現のために努力している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	32.6%	45.5%	20.6%	1.3%
2 生徒	46.3%	45.4%	7.7%	0.9%
3 教員	5.7%	85.7%	8.6%	0.0%

9 困難なことに対しても根気強く取り組んでいる。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	27.8%	47.5%	21.9%	2.9%
2 生徒	37.3%	46.1%	14.5%	2.0%
3 教員	8.6%	71.4%	20.0%	0.0%



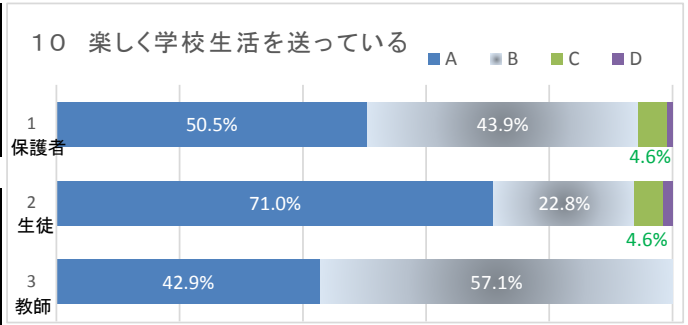
基本的な生活習慣が概ね身に付いている生徒がほとんどですが, 自分自身でまだ不十分であると感じている生徒が12%います。困難なことに対する取組も決して良い評価結果ではありません。保健室の利用者数とその要因を分析したところ, 「早寝・早起き・朝ごはん」が定着していないことを原因とした体調不良(貧血や気温の変化への不適応等)も考えられます。基本的な生活習慣の定着は, 心も体も安定させ, 全ての「やる気」の源となります。自分が苦手と思っていることや困難なことに対しても根気強く取り組む気持ちの基礎となるはずです。コロナ禍のために様々な制限がある中での生活だからこそ, 「早寝・早起き・朝ごはん・マスク・手洗い」を実践し, 生活リズムを整えることによって心身共に健康で, 元気に登校してほしいと願っています。ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

「ピンチはチャンス」の気持ちで, ピンチの時はその課題や解決策について真剣に考えることができるチャンスであると考えてほしいと思います。困難なことに対してもすぐにくじけたり, あきらめたりせず, 強い意志を持って友達と苦しみを分かち合い, たくましく頑張るよう指導していきます。中学校3年間は自分を鍛え伸ばす貴重な時期です。学校での豊かな経験を通して, 充実した生活を送ってほしいと願っています。

学校生活全般について

10 楽しく学校生活を送っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	50.5%	43.9%	4.6%	1.0%
2 生徒	71.0%	22.8%	4.6%	1.5%
3 教員	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%



11 学校や社会のルールを守って生活している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	56.3%	40.8%	2.4%	0.5%
2 生徒	74.4%	23.8%	1.7%	0.3%
3 教員	28.6%	68.6%	2.9%	0.0%

12 家庭での学習時間を作っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	28.0%	42.5%	24.4%	5.1%
2 生徒	43.7%	39.7%	13.1%	3.7%
3 教員	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%

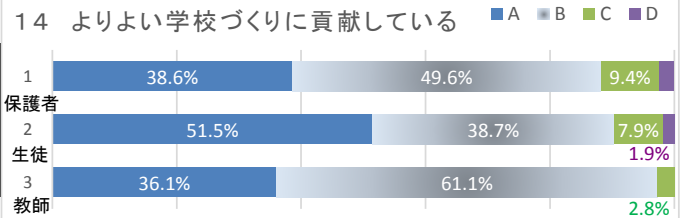
13 宿題や提出物の期限を守っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	41.6%	44.5%	10.9%	3.0%
2 生徒	57.9%	31.5%	8.3%	2.6%
3 教員	8.8%	82.4%	8.8%	0.0%

< 設問2をご確認ください >

14 生徒会活動などにより、よりよい学校づくりに貢献している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	38.6%	49.6%	9.4%	2.4%
2 生徒	51.5%	38.7%	7.9%	1.9%
3 教員	36.1%	61.1%	2.8%	0.0%



約94%の生徒が学校生活を「楽しい」と感じており、色々な活動に意欲的に取り組んできた成果であると思います。また、学校や社会のルールを守る規律を身に付けており、しっかりとした態度で落ち着いた学校生活の基盤となっています。しかし、C・Dと回答した生徒が約6%います。そのため、一人一人の生徒にとって充実した学校生活となるために諸活動を工夫して今後も実施していきたいです。特に、学校生活の大部分は授業であるため、「分かる授業」を目指した教師による授業改善が最も大切な取組であると考えています。<→設問2・3をご確認ください>

協働型学校評価について

本年度の協働型学校評価重点目標 「生命を尊重する心、他者を思いやる心、豊かな心の育成」

15 自分の良さに気付き、相手を信頼するよう心掛けている。また、相手の良さに気付き、相手から信頼されるよう心掛けている。

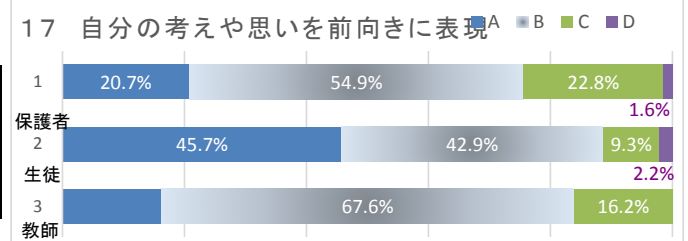
	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	26.0%	60.8%	12.6%	0.6%
2 生徒	48.5%	41.5%	9.1%	0.9%
3 教員	13.9%	77.8%	8.3%	0.0%

16 自分から挨拶をし、手伝いなども積極的におこなうよう心掛けている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	25.2%	53.4%	19.6%	1.8%
2 生徒	51.4%	40.9%	6.9%	1.1%
3 教員	43.2%	45.9%	10.8%	0.0%

17 自分の考えや思いを前向きに表現(言葉や行動など)するよう心掛けている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	20.7%	54.9%	22.8%	1.6%
2 生徒	45.7%	42.9%	9.3%	2.2%
3 教員	16.2%	67.6%	16.2%	0.0%



協働型学校評価改善活動について【家庭・学校】

18 挨拶したり、手伝いやボランティアをしていたら積極的に褒めている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	42.2%	49.1%	8.3%	0.3%
2 教員	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%

19 役割を決めるなど、生徒が積極的に役割を果たすよう工夫している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	22.9%	49.5%	25.0%	2.6%
2 教員	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%

20 よく会話し、考えや思いを表現(言葉や行動など)させている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	37.8%	51.0%	10.9%	0.3%
2 教員	41.7%	52.8%	5.6%	0.0%

前向きに自分の考えや思いを表現できている生徒が80%以上です。学校では、「主体的・対話的で深い学び」の授業を実現するために、発言する機会や考えや思いを表現することを大切に授業を実践しています。本校の本年度の校内研究テーマを「表現力の育成」とし、生徒本人が積極的に表現したり行動していこうとする姿勢を大事にしながら、個人の気付きや考えを全体で共有し、更に深い学びへとつなげられるよう日々授業改善に努めてきました。今後も表現能力のレベルアップを図り、他者意識をしっかりと持った前向きな言動(相手の立場に立った伝わりやすい言動)ができる生徒の育成にも力を入れたいと考えています。

また、学校での生徒の係への取組や委員会活動・清掃作業の様子から、生徒は積極的に役割を果たしていると評価しています。ご家庭では、家庭内でも具体的な役割を決めてあげ、その取組を更に「認め」「褒める」ことにより、子供の自己肯定感を高めるような工夫を取り入れてみてほしいと思います。

確かな学力の育成について

21 学校は、楽しく・分かりやすく学べるような授業づくりをしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	20.2%	67.6%	11.7%	0.5%
2 教員	38.2%	61.8%	0.0%	0.0%

22 学校は、学力向上のために授業体制を工夫している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	22.6%	63.7%	12.1%	1.6%
2 教員	48.6%	48.6%	2.9%	0.0%

23 学校は、適切な学習習慣や家庭学習の指導を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	22.2%	64.1%	12.2%	1.4%
2 教員	25.7%	62.9%	11.4%	0.0%

24 学校は、地域の人材や外部講師を活用して指導している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	16.2%	64.0%	17.9%	1.9%
2 教員	11.4%	45.7%	28.6%	14.3%

25 学校は、生徒が積極的に参加できるような学校行事を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	27.6%	58.2%	12.8%	1.5%
2 教員	41.7%	44.4%	13.9%	0.0%

26 学校は、生徒が主体的に活動できるような部活動を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	32.9%	55.9%	9.7%	1.6%
2 教員	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%

○授業づくり・授業体制について

「主体的・対話的で深い学び」の授業を実施し、基礎的知識と応用力(思考力・判断力・表現力)の双方を身に付けさせることを目指しています。数学科の授業では習熟度別少人数学習体制をとってきました。他教科でも可能な限りT・T授業を行うなど、生徒からの自発的な質問を受けやすい授業体制を整えました。これらの授業体制によって、生徒の意欲的な学習の様子が伺えます。限られた教員数のため、全学年や複数教科での実施は行えませんが、T・T授業や少人数体制での授業展開の工夫は実態に合わせて今後も実施する予定です。

○部活動・学校行事・外部人材の活用・防災訓練について

本年度は、文部科学省ならびに市教育委員会からの指示に従って感染防止対策に務めた結果、学校公開日・授業参観・PTA懇談会・校内合唱祭・文化祭のステージ発表などを中止としました。6月の市中総体も中止となり、生徒の学びの姿や活躍の様子を直接ご覧いただく機会を失ったことを本当に残念に思います。また、地域・外部の人材活用についても同様の対応としたために、外部講師による特別講義も一部の学年での実施のみとしました。地域合同防災訓練も中止となったため、校内避難訓練を学年単位で実施しながら防災に対する思考力・判断力の育成を資料等を活用しながら実施しました。<→設問34・35と関連>

全ての教育活動が制限された条件の中での活動となっているため、運営や活動内容に新しい工夫を必要とされています。ご理解ください。

なお、部活動の活動時間等については「仙台市部活動ガイドライン」に則った活動内容・時間とし、生徒の自主的な活動を尊重した有意義な部活動となるよう計画・指導していきます。

生徒指導について

27 学校は、安全・安心な学校づくりに努めている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	40.6%	54.3%	4.7%	0.5%
2 教員	47.2%	52.8%	0.0%	0.0%

29 学校は、いじめ防止に向けた取組を適切に行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	28.4%	63.5%	6.5%	1.6%
2 教員	44.4%	52.8%	2.8%	0.0%

< 設問4・5・6をご確認ください >

31 学校は、子どもを理解し子どもの相談に親身に応じている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	29.4%	62.2%	7.1%	1.3%
2 教員	47.2%	50.0%	2.8%	0.0%

33 学校は、ケガ・事故等が発生した場合の対応を適切に行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	44.2%	53.1%	1.9%	0.8%
2 教員	63.9%	36.1%	0.0%	0.0%

防災教育について

34 学校は、防災教育や道徳教育を通して、命の大切さや思いやりの気持ちを育てている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	31.7%	63.4%	4.7%	0.2%
2 教員	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%

< 設問24をご確認ください >

28 学校は、子どもの生活指導を適切に行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	34.0%	60.5%	5.0%	0.5%
2 教員	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%

30 学校は、いじめが起きた場合すみやかに対応している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	27.2%	65.8%	5.7%	1.3%
2 教員	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%

32 学校は、家庭への連絡を適時行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	38.7%	54.3%	5.0%	1.9%
2 教員	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%

35 学校は、防災教育と防災訓練等を通して、具体的な避難所開設時の活動訓練や「地域に役に立つ中学生」を育成している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	29.9%	60.5%	8.5%	1.1%
2 教員	27.8%	52.8%	13.9%	5.6%

保護者・地域との連携について

36 学校は、教育活動について積極的に保護者や地域に発信している。(各種たより、学校ホームページ、掲示物等)

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	38.8%	53.5%	6.6%	1.1%
2 教員	38.9%	52.8%	8.3%	0.0%

施設・設備について

37 学校は、学習・生活環境の充実のために施設・設備の整備を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	28.2%	57.8%	12.0%	2.1%
2 教員	41.7%	38.9%	19.4%	0.0%

○施設・設備・校舎内の清掃・ボランティア活動について

今年度も市教育委員会の支援を受け、校舎内外の老朽化に対する施設設備の修繕をできる限り進めてきました。瑕疵箇所の早期発見を心掛け、安全な生活環境を維持することに努めています。老朽化のために不便を感じる場面もありますが、校舎などへの物理的環境へも思いやりの心を持って大切に使用していきたいです。また、本校生徒たちは真面目に清掃に取り組んでおり、自ら清掃箇所を見つけてきれいにしています。校舎内は職員による消毒作業(拭き取り)や生徒の通常清掃による感染防止対策を進めています。清潔な状態で、学習活動に集中して取り組める環境を生徒自らが創りだしています。また、スーパーアルカスを中心とした学校周辺の落葉清掃や各部活動による自主的な雪かき作業等のボランティア活動も再開しています。この精神は、東仙中の良い伝統として今後も続けていきたいです。

○工事関係のお知らせ

[教室へのエアコン設置について]

昨年度、エアコンを22の普通教室に設置し、現在使用しています。また、1教室へのエアコン設置工事を現在おこなっております。なお、エアコンが設置されるのは普通教室のみです。理科室や美術室などの特別教室への設置予定はありません。そのため、図書室への簡易エアコン設置を現在申請しています。

[体育館トイレ改修工事について]

本年度末から、体育館へ「ひろびろトイレ」を設置するための改修工事が始まります。工事期間中は体育館トイレが使用できません。授業・部活動等では、武道館や南校舎1階トイレを生徒は使用することとなります。工事開始は3月中が予定されています(現在調整中)。工事期間が決定しましたら改めてお知らせします。ご不便をお掛けしますが予めご了承ください。

[水道蛇口一部レバー式への交換を実施]

感染防止対策として生徒の手洗いを徹底しています。水道蛇口の増設予定はありませんが、保健室などの一部水道蛇口栓を回転式からレバー式へ交換しました。今後も整備を申請したいと考えています。

[GIGAスクール構想～タブレット端末の配備～]

市内学校へのタブレット端末配備が進んでいます。本校は、1月末に無線Wi-Fi設備等の設置工事が完了し、現在タブレット使用のための準備を進めています。なお、本校へ配備されているタブレット端末の台数がまだ全校生徒数分には足りておりません。今後随時配備される予定です。

## まとめ

アンケートへのご協力に感謝申し上げます。

アンケート結果全体を通して「達成(良)」「おおむね達成(おおむね良)」とする評価が多いです。この結果は、本校の良さを生かした教育活動の成果であり、生徒一人一人の自覚と頑張り及び保護者、地域の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力の成果と考えています。また、記述による貴重なご意見や励ましをいただきました。内容については、関連する設問のコメントへ含ませていただきましたので、ご確認ください。貴重なご意見や分析結果を生かし、本年度中に改善すべき点については改善に取り組み、さらに東仙台中学校の教育活動を充実させるために次年度の計画づくりを行っています。

なお、本年度の特徴的な課題として、学校からの情報発信について、より視覚的な改善措置の必要性があげられます。「確かな学力の育成」に関する項目でも触れたとおり、本年度は地域や保護者の皆様に本校生徒の活躍の様子を直接見ていただく機会をほとんど設定できませんでした。本当に残念でなりません。授業の様子をライブ配信してほしいというご意見も頂いてはいますが、機器設備環境やセキュリティー・個人情報保護等を考慮すると現時点での配信は不可能です。今後も、関係諸機関からご助言をいただきながら学校HPや学校だより等を活用して適宜適切な情報発信を心掛けていきたいと考えております。

学校教育目標と目指す生徒像の達成のために、～TEAM TOSEN～のスローガンの下で教育活動に当たってまいります。これからも、学校・家庭・地域の三者が協働してよりよい生徒の育成に努めていきます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。